

農業法人経営者等を対象とした研修会事例 報告書
(令和2年度 山口県農作業安全研修会)

1 日時・場所

令和2年11月17日(金) 13:30~16:00

JAビル4階ホール(山口県小郡市下郷2139)

2 対象者

山口県集落営農法人連携協議会会員法人、関係行政機関等

3 参加機関・組織 ※カッコ内は人数

山口県集落営農法人連携協議会会員法人(40)、関係行政機関等(19)

農研機構 農業技術革新工学研究センター(1)、中国運輸局自動車技術安全部他(2)

(一社)全国農業改良普及支援協会(1)、(一社)日本農業機械化協会(2)

延べ65名

4 概要

山口県集落営農法人連携協議会の会員法人、関係行政機関の職員等を対象に、山口県集落営農法人連携協議会主催、農作業安全総合推進協議会(担当:(一社)全国農業改良普及支援協会)共催による「令和2年度農作業安全研修会」が開催された。

連携協議会の原田会長の挨拶に続き、県農林水産部農業振興課の村田悠介主査から「農作業安全について」と題して、山口県の農作業事故の発生状況、農作業事故の注意点等について説明があった。さらに、外部講師として農研機構 農業技術革新工学研究センターの研究員を招き、「トラクタ使用時の事故の多さとその対策」と題して、特に制度改正のあった公道走行に関する紹介、対策のポイント等について事例を交えて講演が行われた。続いて、中国運輸局自動車技術安全部技術課の玉井賢治係長から「農作業機付き農耕トラクタの公道走行について」と題して道路運送車両法に関する制度改正の内容についての詳細な説明があった。

また、研修会の開始前、休憩時、終了後の時間を利用して、研修会参加者を対象にVR動画による農作業事故体験を実施し、自己の能力、行動チェックをしてもらい、「私の農作業安全宣言」に記入、署名することにより安全意識の向上を図った。また、参加者には公道走行に関するチラシと農作業安全ステッカーを渡した。

○VR 体験者数 : 33 名 (男性 29、女性 4)

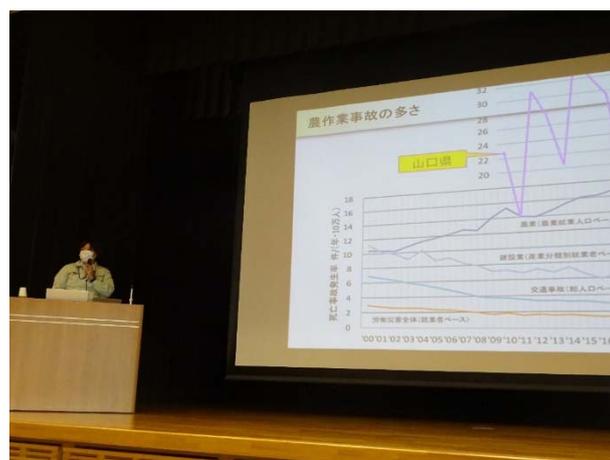
内訳

乗用トラクター	17 名
コンバイン	5 名
刈払機	10 名
スピードブレーヤ	1 名

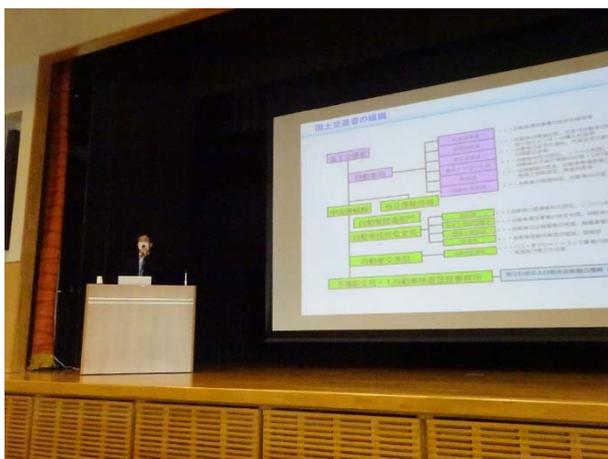
以上



山口県農林水産部農業振興課の村田悠介主査から「農作業安全について」の講演の様子



農研機構農業技術革新工学研究センターの皆川研究員の「トラクタ使用時の事故の多さとその対策」の講演の様子



中国運輸局自動車技術安全部技術課の玉井賢治係長の「農作業機付き農耕トラクタの公道走行について」の講演の様子



VR 動画による農作業事故体験の実施の様子